

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

別紙1

令和6年12月10日

協議会名:加賀市地域公共交通活性化再生協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
北鉄加賀バス(株)	(路線名)温泉片山津線 (運行区間)加賀温泉駅～片山津温泉～石川病院～湖城団地～加賀温泉駅	今年度も引き続き、MM施策として加賀市の協力ののもと、加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布した。	A 令和6年1月1日発生の能登半島地震の影響で1月1日16:20以降から1月4日にかけて、全便運行に影響ができました。しかしながら、運休回数のうち12条2項(やむを得ないと大臣が認めた場合)に該当するため、事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 定期券、定期外共に、利用者が減少し、1便あたり乗車人員は、10.33人と目標の12人を下回った。原因として、震災の影響や、3月16日開業の北陸新幹線延伸による、観光客増員が見込めなかった。	引き続き、MM施策として加賀市の協力ののもと、加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布する。また、北陸鉄道ICカード乗車券「ICa」の普及、クレジットカード等によるキャッシュレス乗車の実現を図る。
北鉄加賀バス(株)	(路線名)山代大聖寺線 (運行区間)山中温泉～山代温泉東口～上河崎～大聖寺駅～大聖寺実業高校～かが交流プラザさくら	今年度も引き続き、MM施策として加賀市の協力ののもと、加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布した。	A 令和6年1月1日発生の能登半島地震の影響で1月1日16:20以降から1月4日にかけて、全便運行に影響ができました。しかしながら、運休回数のうち12条2項(やむを得ないと大臣が認めた場合)に該当するため、事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 定期券、定期外共に、利用者が減少し、1便あたり乗車人員は、5.98人と目標の8人を下回った。原因として、震災の影響や、3月16日開業の北陸新幹線延伸による、観光客増員が見込めなかった。	引き続き、MM施策として加賀市の協力ののもと、加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布する。また、北陸鉄道ICカード乗車券「ICa」の普及、クレジットカード等によるキャッシュレス乗車の実現を図る。
北鉄加賀バス(株)	(路線名)温泉大聖寺線 (運行区間)加賀温泉駅～松が丘～大聖寺駅～かが交流プラザさくら	今年度も引き続き、MM施策として加賀市の協力ののもと、加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布した。	A 令和6年1月1日発生の能登半島地震の影響で1月1日16:20以降から1月4日にかけて、全便運行に影響ができました。しかしながら、運休回数のうち12条2項(やむを得ないと大臣が認めた場合)に該当するため、事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 定期券、定期外共に、利用者が減少し、1便あたり乗車人員は、3.72人と目標の5人を下回った。原因として、震災の影響や、3月16日開業の北陸新幹線延伸による、観光客増員が見込めなかった。	引き続き、MM施策として加賀市の協力ののもと、加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布する。また、北陸鉄道ICカード乗車券「ICa」の普及、クレジットカード等によるキャッシュレス乗車の実現を図る。
北鉄加賀バス(株)	(路線名)吉崎線 (運行区間)加賀温泉駅～上河崎～大聖寺駅～塩屋	今年度も引き続き、MM施策として加賀市の協力ののもと、加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布した。	A 令和6年1月1日発生の能登半島地震の影響で1月1日16:20以降から1月4日にかけて、全便運行に影響ができました。しかしながら、運休回数のうち12条2項(やむを得ないと大臣が認めた場合)に該当するため、事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 定期券、定期外共に、利用者が減少し、1便あたり乗車人員は、9.78人と目標の11人を下回った。原因として、震災の影響や、3月16日開業の北陸新幹線延伸による、観光客増員が見込めなかった。	引き続き、MM施策として加賀市の協力ののもと、加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布する。また、北陸鉄道ICカード乗車券「ICa」の普及、クレジットカード等によるキャッシュレス乗車の実現を図る。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

別紙2

令和 6年 12月 9日

協議会名:加賀市地域公共交通活性化・再生会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
日本海観光バス株式会社	(路線名)キャンバス加賀越前線 (運行区間)加賀温泉駅～菅生石部神社～吉崎御坊蓮如上人記念館	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地域住民の路線として取り組むように新設した。	B 事業が計画に位置付けられた通りに、実施されていない点があった。	C 令和6年5月1日より、当路線を休止したため、目標を達成できなかった。	当路線を、海まわり線に組み入れダイヤを再編成し、海まわり線の便数改善に努める。
日本海観光バス株式会社	(路線名)キャンバス海まわり線 (運行区間)加賀温泉駅～橋立漁港～加賀温泉駅	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地域住民の路線として取り組むように新設した。	B 事業は計画に位置付けられた通り、適切に実施された。	B 便数は6便とおおむね等間隔で運行して利便性を保ち、1便当たりの乗車人数は5.07人でした。	沿線住民に割安の回数券利用促進に努める。
日本海観光バス株式会社	(路線名)キャンバス加賀小松線 (運行区間)加賀温泉駅～ゆのくにの森～那谷寺	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地域住民の路線として取り組むように新設した。	B 事業が計画に位置付けられた通りに、実施されていない点があった。	C 令和6年5月1日より、当路線を休止したため、目標を達成できなかった。	当路線を、山まわり線に組み入れダイヤを再編成し、山まわり線の便数改善に努める。
日本海観光バス株式会社	(路線名)キャンバス小松空港線 (運行区間)加賀温泉駅～片山津温泉総湯～加賀温泉駅	新型コロナウイルス感染症の影響を受け休止していましたが、沿線住民と飛行機利用者の利用促進のため運行を再開した。	B 事業は計画に位置付けられた通り、適切に実施された。	B 便数が3便のため利用者が少なく、1便当たりの乗客数は2.79人でした。	ダイヤの再編成を検討し、便数の改善に努める。